

国は、全国の自治体の主な業務で取扱うシステムの統一・標準化を進めています。その一環として、坂井地区広域連合の実施する介護保険業務システムが、令和7年11月25日から国の定めた「標準仕様書」に適合したシステムに変更となります。これにより、坂井地区広域連合が発行する通知書や被保険者証等の様式や文字デザインが一部変更となります。様式については坂井地区広域連合HP、文字についてはデジタル庁HPにて詳細をご確認ください。



デジタル庁HP



坂井地区広域連合HP

ネットワークさかいとの連携について

坂井地区広域連合では、医療と介護両方のサービスのニーズを有する高齢者が増加することが見込まれる2040年に向けて、住民のみなさま一人ひとりが、その人らしく住み慣れた環境で生活を継続できるよう、坂井地区の介護保険事業者団体「ネットワークさかい」と協力し、介護従事者の資質向上のための研修や部会の開催を行っています。引き続きネットワークさかいと十分に連携しながら、よりよい坂井地区の実現に努めていきます。



接遇セミナー

介護技術向上セミナー

役員会の様子

vol.70
2025.10.15

CONNECT+

坂井地区広域連合広報

あわら市と坂井市の架け橋となって

外国人介護職員の集い

7月30日に坂井地区で活躍している外国人介護職員のネットワークづくりやスキルアップなどを目的とした研修会を開催しました。介護のお仕事の意義や正しい介護技術、コミュニケーションの重要性を学ぶだけでなく、すぐに実践できるレクリエーションなどの体験、グループワークなども行いました。

日本人指導者向け研修

9月10日に外国人介護職員を指導している日本人職員の指導力向上を目的とした研修会を初めて開催しました。研修会では、外国人介護職員の集いに参加した外国人介護職員のみなさんから挙がった業務上の悩みや困りごと等を把握した上で、伝わりやすいコミュニケーション方法や指導時の留意事項を学びました。

CONTENT

きらり介護びと	2~3
第82回広域連合議会定例会 一般質問	4~5
令和6年度 会計決算報告	6~7
代官山墓地からのお知らせ	7
広域連合NEWS	8

さかいクリーンセンターからのお知らせ

すくすくさかい(汚泥肥料)を販売しています。

販売価格

1袋 税込 100円
内容量 15kg
(1世帯1人まで 最大10袋)

配布場所

さかいクリーンセンター
坂井市坂井町今井一

配布日時

毎週火曜日、木曜日
9時~12時

申込方法

あらかじめ電話での予約が必要となります。

問い合わせ先

坂井地区広域連合 総務課
TEL 72-3308



※耕作時期は、お渡しに時間がかかりますので、早めのご注文をお願いします。

編集後記

真夏日も過ぎ、秋の風が感じられる季節になってきました。今回初めて広報誌の編集に携わり、広報誌を作成するうえで様々な方とお会いしました。貴重な機会をいただき、学ぶことが多くあったと感じております。今後もよりよい広報誌の作成に努めたいと思っております。作成に携わってくれた方に心より感謝申し上げます。(T.K)

編集・発行

坂井地区広域連合

〒919-0526 福井県坂井市上兵庫40-15 TEL.0776-72-3305 FAX.0776-72-3306
http://www.kouiki.sakai.fukui.jp



県民せいきょう坂井きらめきデイサービス

住所：坂井市坂井町大味56号

定員：28名

営業時間：9：00～17：00



利用者やご家族の相談対応を行ったり、ケアマネジャーや関連機関との連携を図り在宅での生活を続けられるようサポートしています。また、施設の職員（介護士・看護師・理学療法士・作業療法士など）と利用者の支援の方向性を共有し、その人に合った支援の調整をおこなっています。

■介護の仕事始めたきっかけ

高校生の時の職場体験です。特別養護老人ホームに行かせていただき、目の見えない方のお話し相手として関わらせていただきました。体験が終わり帰らせていただくことをお伝えした時に、何度も「ありがとう。ありがとう」と言

■仕事の中で大切にしていること

話を聴く、という事です。自分らしく生活を送っていたくにあたって、その人の過去を知る。現在を知る。という事を大切にしています。

なかなか本心で話されない方もいらっしゃると思います。話しやすい雰囲気であったり、姿勢であったりなど工夫しながらお話をさせていただきます。

■やりがいを感じる瞬間は？

利用者の笑顔が見られた時です。それは普段の何気ない会話でみられたり、「～したい」とのご要望に応じた際にみられたりと様々ではあります。

利用者の笑顔が一番のやりがいに繋がっています。

■将来の夢や目標

「これ」といったものは正直今は考えていません。自分の周りが笑顔であふれているといいな・・・と漠然ではありますが思い描いています。もちろんその為には自分が笑顔



生活相談員

津田 春香さん

われました。何もしていない、お話をしていたただけなのに感謝の言葉をかけて下さったときに申し訳ない気持ちになりました。「ありがとう」と言われるなら何か役に立つことをして言われたと思うのがきっかけです。

■特に大変だと思うことは？

人は誰一人として同じではありません。育ってきた環境や考え方が違う方々が集団の中で生活をされます。それは利用者だけでなく、関わる職員も同じです。

その人の「自分らしさ」が発揮できる環境づくりが今は大変だと感じています。

ではないといけないとも思っています。

自分も楽しく仕事ができる仕組みづくりに努め、自分の周りが笑顔で溢れる場所づくりをしていきたいです。

■介護の仕事を目指している人へのメッセージ

人生経験豊富な方々と接するお仕事です。

様々な経験をされてきた方々から学ぶことは大きいです。それが自分の自信・成長に繋がってくれます。失敗しても利用者の笑顔に助けられながら仕事が出来ています。私は介護の仕事を選んで良かったなと日々感じています。



- 令和6年度坂井地区広域連合一般会計歳入歳出決算の認定について
- 令和6年度坂井地区広域連合介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和6年度坂井地区広域連合代官山墓地特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和7年度坂井地区広域連合一般会計補正予算(第1号)
- 令和7年度坂井地区広域連合介護保険特別会計補正予算(第1号)
- 令和7年度坂井地区広域連合代官山墓地特別会計補正予算(第1号)
- 財産の取得について(霊柩車購入)

あわらし市議員（7名）

坂井市議員(11名)

広域連合議員の
皆さんは次のと
おりです。（敬称略）

野沢 裕希 議員

安心して利用できる
代官山斎苑の料金維持を

北浦 博憲 議員

高齢者の生きがいづくりと 介護支援について

地域活動の人材発掘育成と地域との連携充実を。

介護保険事業計画の基礎資料として令和4年度に実施した調査では、地域活動への参加意欲が19.3%であり、現在、構成市や市社会福祉協議会が中心となっており、いきがづくりや社会参加の担い手となる人材発掘・育成に取り組んでいる。具体的には、フレイルサポーターや生活介護支援サポーターといった有償ボランティアを育成しており、7月末現在、フレイルサポーター170人、生活介護支援サポーター83人が養成研修を講じている。また身近な支援者となる区長、民生委員、福祉推進員を中心に、地域包括支援センター職員、介護の専門職が地域の中で見守り支援や地域の居場所づくりに関わっている。

仕事と介護が両立できる環境整備を。

令和4年度の調査では、坂井地区の主な介護者は60歳以上が71.9%を占めており、その内、仕事を続けながら介護している方はほぼ半数である。このことから地域包括支援センターでは、仕事と介護を両立しながら、少しでも介護者の不安を軽減できるよう、家族介護教室や交流事業を通じて介護に関する研修や座談会を開催している。また広域連合では坂井地区介護者負担アセスメントシートの積極的な活用を推進しており、介護負担リスクの高い家族介護者の早期発見、早期支援に繋がられるよう、居宅介護支援事業所および地域包括支援センター職員を対象とした研修会を開催している。さらに、構成市では認知症の人や家族の視点を重視しながら、共生と予防を車の両輪とした認知症カフェなど、様々な施策を推進している。今後も家族相談支援の充実に関係機関と連携して取り組んでいく。

令和6年度の代官山斎苑の火葬料金は1万円であり、全国的にも低い水準である。市民が安心して利用できる料金を維持するためには、持続可能な運営が必要である。直近の収支状況や老朽化対策、今後の料金の見直しについて伺う。

直近3年間はいずれも実質収支が黒字で推移している。老朽化対策は点検修繕計画に基づき、令和8年度から5年間で約6,070万円を見込んでいる。運営は指定管理者制度を活用し、効率化と費用削減を図っている。収入は構成市負担金、火葬・霊柩車使用料などで賄っており、今後も物価高騰等を踏まえつつ慎重に料金改定を検討する。

他の地域では、外資系企業の参入によって料金が急激に高騰した事例がある。参入による料金の高騰には備えているか。

火葬場の設置は法律により都道府県の知事の許可が必要となる。全国的にみても民間の火葬場は少なく、県内はすべて公営であるため、新たに民間企業が知事の許可を得て参入は現実的に困難と考えている。

現在実質収支が黒字なのは利用者が多いためと考えるが、人口減少が進めば料金維持は不透明である。やむを得ず料金改定が必要となる場合でも、急激な値上げは避けるべきと考えている。そのような場合に市民負担を抑えるための仕組みはどのように検討しているか。また、市民サービスとしての公平性を守りながら、安心して利用できる体制づくりを広域連合に求める。

料金改定については公共サービスの一環として今後も慎重に検討したいと思っている。低所得世帯には生活保護世帯への減免を実施している。それ以外の低所得の方にも将来値上げが必要になった場合には、近隣市町の動向を踏まえて検討していく。

第82回 広域連合議会定例会



第82回広域連合議会定例会が8月22日(金)に開催されました。

今回は、7議案等が上程され、いずれも原案のとおり認定および可決されました。

また、4名の議員が一般質問を行いました。

永井 純一 議員

介護は「命のインフラ」、
体制の強化を。

坂井地区の介護施設の受け入れ可能数と、職員数を伺う。

施設の定員数は、令和7年7月末現在、介護老人福祉施設が8ヶ所、介護老人保健施設が6ヶ所、合計14ヶ所で886名。入所者数は坂井地区の被保険者で743名である。また、地域密着型介護老人福祉施設は9ヶ所で定員235名、受け入れ数は223名である。現職員数は令和6年10月1日現在531名である。

訪問介護の対象者数と訪問介護員の人数を伺う。

対象者数は、令和7年7月現在438名、訪問介護員は令和6年10月現在272名である。

今後、訪問介護が増加すると予想するが、増加に対する体制強化について伺う。

坂井地区において2040年に向けて働く世代の減少が進行する一方で、一人暮らしの高齢者の増加が見込まれる。掃除・洗濯・ゴミ出しなどの生活支援は、訪問型サービスB事業の提供を中心に、構成市と連携して体制強化を図る。

介護従事者の処遇改善について、今後の取り組みを伺う。

さらなる賃上げを通じた安定収入の確保は、介護従事者の確保と介護サービスの質の向上に直結する極めて重要な課題である。賃金水準の改善だけでなく、勤務条件の改善、キャリア形成の整備を同時に進める必要があるため、引き続き総合的な人材確保対策と事業所育成を進めたい。

伊藤 聖一 議員

外国人介護職員の 集い事業について

介護施設の人材不足は深刻な状況である。配置規準を満たすために、外国人人材を積極的に採用している。介護の仕事では利用者とのコミュニケーションは欠かす事ができないが、高齢者の人たちには福井弁を多用する人も多いのではないかとと思われる。外国人介護職員の集いの中で、楽しみながら福井弁を理解できるような工夫はできないか。

管内に在籍する外国人介護職員は、令和6年10月1日付で総数68名になっている。外国人介護職員の集いには、定員10名に対し令和6年度が9名、令和7年度が8名の参加があった。参加者のアンケートで福井弁が分からず利用者とのコミュニケーションで困る事があるとの意見もあった。外国人介護職員の意見を聞きながら、研修内容を工夫していきたい。外国人介護職員が、安心して長期的に就労できる環境整備を推進していきたい。

昨年の訪問介護基本報酬引き下げの影響から、収益が悪化し訪問介護からの撤退や廃業する事業者の増加が問題視されている。その様な中、経営が悪化した事業所を支援する自治体も出てきた。管内の訪問介護事業者の収益への影響は実績でどれくらいなのか。また介護報酬改定による、訪問介護事業者への減収分の補填をしてはどうか。

令和6年度の訪問介護の給付費は、前年度より2,304万円の増加であり、報酬改定による深刻な影響はないと捉えている。

訪問介護事業所の介護保険収入の減収は都市部で大きくなっており、坂井地区内の訪問介護事業所への影響は少なく、経営難に陥っている状況ではない。減収分の補填等は考えていない。

